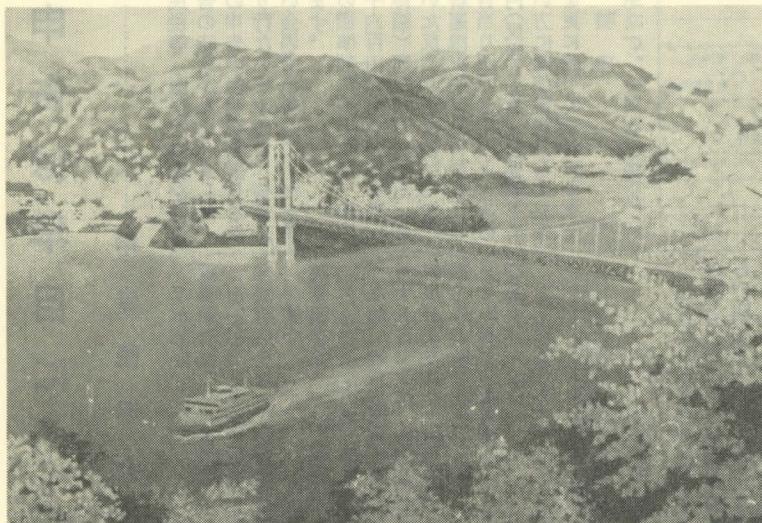


✿ 万本のさくらでにぎわう夢の掛橋附近 ✿



(予 想 写 真)

副總裁	中川平太夫	理事長	山口 誓子
常任理事	新井一雄	監事	杉本又助
会長	同人	橋本大三	山本清孝
		安井承世	(五十音順)
		平野勇	
午前十一時、理事長のあいさつに始まり、規定どおり次の議案を審議決定した。			
第一号議案	昭和四十六年度事業計画	および収支予算案	および収支予算案
第二号議案	昭和四十七年度事業計画	長期事業計画案	長期事業計画案
第三号議案	その他関連事項について	第四号議案	その他の議案
長期計画は四十六年から五一年までのものであるが、財團法人の性格上善意の寄附行為により財源を整え事業を推進してゆくことが立前であるが、前年は会の育成段階として、県や村で或る程度の財政補助を行つて基本姿勢を樹立させ、その後は一切を寄附行為により植樹を進めると共に、さくら会館も建設して植栽の桜を育成管理すること、さくらに関する各種の資料を集め展示すること、当地本来の山桜の育苗を行い移入桜のみならず、しつかりこの地の風土に定着した桃色さくらを仕立て植樹はもとより出荷にまで進めようにしてないこと、など数々の抱負が計画されている。			

尚、今回の計画は五十一年まであるが、これでこの会の使命を完了するのでなく、幾十年か肥培管理を適正に行なうことの重要さをも強調された。理事会終了後二十社の報道関係者が前記席席者一同を囲み各社各様の質問を行い午後二時無事終了した。

## 呉越同舟のマン・ション

奥越漁業協同組合

室内的餌付槽には、四十数万のあまごの稚魚が真黒な集団となつて、およぎまわつてゐる。ただ無表情について最近まで自活するための「さいのう」を腹にかかえてもがいていたのに、今は姿もスマートになつて、ひたすら人間が与えてくれる餌を待つて……

横の孵化槽では、一〇万粒の「ひめます」「卵が魚族社会の生存競争の深刻さも知らずに、日夜次々と胎動をつづけている。

そのまた横の池には「にじます」の稚魚が二十五万尾も産み月の母ちゃんやんの姿にもて、うようよと育つてゐる。当村川合に昨年建設された種苗供給センターでは、数十万尾の稚魚が、県の専門の技師さんの手の中ですくすくと育つてゐます。

魚族社会は、人間社会のように上下貧富の差はないが、食べるえさのちがい、生活しやすい肌にあつた水温や、その他の立地条件によつてそれぞれの魚種が住みわけられ、安住の地を求めて住みつくわけであるが、それでも全

部の魚種がはつきりわかれていなく、同じ層の同じ地域に住むものも數多くいます。

魚の中には、自分達の同族でも、他の種類の魚でもえさにする(友食い)ものも数多くあり、「いわな」や「にじます」がそれです。

「あまご」「こい」「ふな」等の稚魚にとつて「にじます」や「いわな」は親の代からの宿敵であります。

それとも知らない数十万匹の子魚達は、ただ幼ない生命をなんとかもつちがけて、祖先が住む九頭竜ダムや川に放たれる日を待ちこがれています。

知るよしもないことながら、宿敵同志同じ屋根の下で育つてていることは、人間社会なら吳越同舟というところであります。

これら稚魚のほか、未熟卵で二ミリにも満たない孵化直後で「さいのう」を抱えた稚魚をはじめ、六〇センチもある「さくらます」など当村内の河川湖底でとれた魚の標本も着々と揃えられています。特に冬期間は、県の水産試験場の技師さんが付っきりで御指導下さいであります。

## 九頭竜万本桜の会正規発足

九頭竜ダム周辺を桜で埋めようとする  
萬本さくら会について、財團法人としての設立許可とその登記が昨年八月  
完了し、その後新発足の準備を進めつ

## 第一回理事會開かる



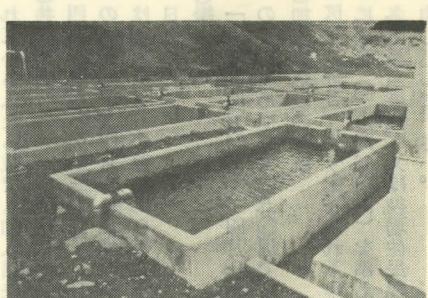
発行所  
福井県大野郡  
和泉村  
下穴馬 912-02  
中竜 912-03

(昭和46年2月1日現在)

出生	3人
死亡	2人
入転	8人
出転	10人
総人口	2,411人
男	1,250人
女	1,161人
世帯数	662世帯

村の面積  
332.60 km<sup>2</sup>

## 今月の目標



## 役場の窓

## 申告は早めに

## 申告説明会

今年も村民税等(国税、県税を含む)の所得申告の時期がまいりました。そこで、この申告の説明会と受付を次の日程により行ないますので、皆さんにこの都合のよい会場で申告していただきたいと思います。

農業所得の標準額については、田の場合二万三千六百円(必要経費を除いた反当り所得額)畑は二万一千円(必要経費を除いた反当り所得額)です。このほか、耕運機を所有しておられる方には、一台当たり四万七千円と、その有していない方には償耕費として五千円(反当り)を更に差引く事ができます。

## (1) 耕運機を所有し、3反歩を耕作して

いる場合  
標準所得額 耕運費 純所得額  
70,800円 - 49,150円 = 21,670円  
(2) 耕運機がなく、3反歩を耕作している場合  
標準所得額 耕運費 純所得額  
70,800円 - 15,000円 = 55,800円

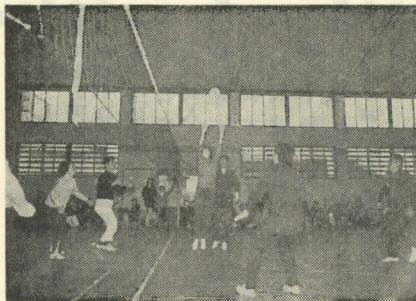
なお、申告期限はいつものとおり三月十五日ですが、期限までに申告書の提出がなされない場合は、大変不利を招くことになりますので、どうか期日までに必ず申告していただきたいと存じます。

## 目に見えない病気

## 三月三日は耳の日

三月三日は、耳の日です。三月三日の三と三がみみに語呂が通じることから、昭和三十二年に制定されました。ことしから幼稚園や小学校へ入られる子供さんをお持ちの家庭では、なにかと心づかいが多いことでしょう。ふだん病氣らしい病気もせず、元気によんでいるお子さんでも、目に見えない病氣もあることをご存知でしょうか。たとえば耳や鼻の病氣です。ある学校へ行くようになつたんですからへななど自分でかんで、いつもきれいにしていないとお友達に笑われますよ……と言いかせておいても、ずるずる流れ出る鼻汁をお子さんはいつも注意していません。

「またたらしている」としかる前に一度専門医に診てもらいましょう。「うちの子は少し遠いかな」と考えがちな難聴の問題です。



## 職場対抗バレー大会

## ♪優勝役場Aチーム♪

恒例の職場対抗スキー大会は回を重ねて十四回……

しかし本年は、数十年來といわれる暖冬異変で積雪不足のため、急遽変更してバレー・ボール大会が行なわれた。

試合はトーナメントで行なわれ、年令制限されたチーム編成に珍プレーの続出……福井県六人制バレー・ボール規約を採用して行なわれたものの、試合中ボールをつかんで投げるものもあれば、ネットの下を通りぬけるもの、オーバーネットをするもの、ドリブル、ホールディング等の続出に審判団も四苦八苦の審判ぶり、一つ屋根の下に参加

七チーム総勢七十余名の選手をはじめ観客合せて、百三十余人……

大会の趣旨である、健全なる体力づくりをはじめ職場間の親睦をはかる目的は十二分に達成できた。試合の終了後には、お互に握手し、肩をたたく姿も見受けられ、まさにオリエンピックの一



## 切替は三月一日から

## 事故からくる交通災害共済

昭和四十六年度の交通災害共済の共済期間の満了日(三月三十一日)が近くなり、昭和四十七年度の加入の切替時期となりました。

御承知のとおり交通事故は年々増加の一途をたどっており、昨年福井県下における交通事故死者は史上最高の一七五名の多きを見ており、又昨年全国で三十一分に一人の割合で尊い生命が失なわれています。

「注意一秒、ケガ一生」どんなにしてもさけられない事故がふえています。

本村の交通災害共済の加入状況は二月末現在で七二〇名で、人口の二九・四パーセントであり、県下でも非常に低い加入率です。皮肉なもので、交通事故で死亡したり、大きなケガをされた人は共済に入つていません。災害は保険に入つていない人ばかりねらつているようです。今すぐあなたも家族もいる人なら誰でも加入出来ます

●加入できる人  
村内に住み、住民基本台帳に登録されている人なら誰でも加入出来ます

## ○共済期間

四月一日から翌年三月三十一日までの一年間で、四月一日以降の加入者は加入受付日の翌日から三月三十一日までです。

## ○掛金

一人年間四五〇円で、四月一日付降の途中であつても四五〇円です。

## ○加入申込みの手続

区長(班長)より配布される申込書に掛金(一人四五〇円)を添えて、各區長(班長)又は役場住民課まで申し込んで下さい。

昭和47年度村県民税及び所得税説明会日程			
月 日	曜日	時 間	場 所
3月2日	木	9時～16時	下山池ヶ島道場
3月3日	金	9時～11時	角野道場
3月3日	金	13時～17時	板倉道場
3月4日	土	9時～12時	大納公民館
3月6日	月	8時半～17時	役場3階和室
3月7日	火	8時半～17時	役場3階和室
3月8日	水	9時～16時	中竜支所
3月9日	木	9時～12時	角野前坂道場
3月9日	木	13時～16時半	後野道場
3月10日	金	9時～11時	川合道場
3月10日	金	13時～16時	貝皿道場

(注) 申告書は会場で配布します。

ふだん聞きなれたお父さんや、お母さんの声は、案外よく聞こえても、初めて聞く先生やお友達の声は聞こえにくことがあります。これも一度入学(入園)前に診てもらうようにしまします。(広報より)

1ム  
(1) 優勝役場Aチーム  
2ム  
(2) 優勝役場Bチーム  
3ム  
(3) 優勝役場Cチーム  
4ム  
(4) 優勝役場Dチーム  
5ム  
(5) 優勝役場Eチーム  
6ム  
(6) 優勝役場Fチーム  
7ム  
(7) 優勝役場Gチーム  
8ム  
(8) 優勝役場Hチーム  
9ム  
(9) 優勝役場Iチーム  
10ム  
(10) 優勝役場Jチーム  
11ム  
(11) 優勝役場Kチーム  
12ム  
(12) 優勝役場Lチーム  
13ム  
(13) 優勝役場Mチーム  
14ム  
(14) 優勝役場Nチーム  
15ム  
(15) 優勝役場Oチーム  
16ム  
(16) 優勝役場Pチーム  
17ム  
(17) 優勝役場Qチーム  
18ム  
(18) 優勝役場Rチーム  
19ム  
(19) 優勝役場Sチーム  
20ム  
(20) 優勝役場Tチーム  
21ム  
(21) 優勝役場Uチーム  
22ム  
(22) 優勝役場Vチーム  
23ム  
(23) 優勝役場Wチーム  
24ム  
(24) 優勝役場Xチーム  
25ム  
(25) 優勝役場Yチーム  
26ム  
(26) 優勝役場Zチーム



## 私達のくらしと家庭裁判所

「家庭の日」目標  
こどもの成長を祝い  
みんなの夢を育てよう。

### 未成年者を養子にするには

第166号

(4)

夫婦の間に子がないため、他人の子をもらつている人もあるでしょう。それには養子縁組をしなければなりません。十五才以上の子を養子にするには必ず、本人自身の承諾が必要で、親の意志でこれを左右することは許されません。ただ、十五才未満の子の場合には、まだ、本人がその意味を充分理解できないと思われますので、法定代理人（親権者又は後見人）が本人に代つて承諾することが出来ることになつております。

右のいずれの場合でも二十才未満の子を養子にするには、若干の例外を除き、家庭裁判所の許可を受けなければなりません。それは、養子縁組が眞にその子の幸福を約束するものかどうかを調べるためです。したがつて、芸娼

火災、シーザン来る  
日ごろから避難訓練を  
行なう  
（特に住宅では）

子をもらい受け、自分等夫婦の間に生れた子供として届け出るというよう

な例もあるようですが、あとで問題が

起きるおそれがありますから、定められた養子縁組の手続を、とつておくこ

とが必要です。養子縁組の手続について疑問があれば、よりの家庭裁判所でお尋ね下さい。（福井家庭裁判所）

### 春季全国火災予防運動

二月二十八日～三月十三日

春が近づくにつれて、季節風が強くなり、空気が乾燥し、火災がおこりやすくなります。

近年、産業経済の急速なる発展と、技術革新に伴ない、化学薬品を原料とする燃料、燃料器具が普及し、火災の発生する事故が圧倒的に多くなっています。

火災のほとんどは、たばこ、マッチたき火など、火気の取扱い不注意や不始末が原因ですから、外出、寝る前に必ず火の点検をして下さい。

◎火を出さないために（取扱い心得）  
●電気器具を使つた後は必ずコードをぬいておいて下さい。

●煙突の破損、掃除はよいか確かめて下さい。

●たばこの投げ捨て、おき忘れはしないで下さい。

●火の使用場所には消火器を備えて下さい。

●外出、寝る前には必ず火の点検をして下さい。

以上のようなことに心掛けて火災に

ければ養子縁組の効力はありません。

世間では、生まれて間もない他人の

は充分注意して下さい。

### 農家のみなさんへ!!

#### 養蚕について

今年は久しぶりに雪のない正月で年を越しましたが、昨年は私共農業者に

さんも新しい年の計画を立てられる

たり一戸増産に対する意欲をもたれる

とともに、養蚕をやつておられる農家の方も、このさい充分検討願い、自分

が引き続き行なわれ、一段と厳しい年になりそうです。

私は農業者は自からが当面のいろいろな問題をよく検討し、どのような農業経営を行なうべきかを充分検討する必要があります。

必要がありま

す。

養蚕においては、昨年末の十二月十

四日、東京において全国の養蚕代表者五十人が参加して、養蚕業の安定策を強く要請する全国養蚕農民大会が開催され政府ならびに国会に対しての陳述を行なうべきかを充分検討する必要があります。

養蚕においては、昨年末の十二月十

四日、東京において全国の養蚕代表者

五十人が参加して、養蚕業の安定策を

強く要請する全国養蚕農民大会が開催され政府ならびに国会に対しての陳述を行なうべきかを充分検討する

必要があります。

養蚕においては、昨年末の十二月十

四日、東京において全国の養蚕代表者

五十人が参加して、養蚕業の安定策を

強く要請する全国養蚕農民大会が開催され政府ならびに国会に対しての陳述を行なうべきかを充分検討する

необходимости

没有必要

没有必要